

青春 18 切符で行った

雨の 赤坂山 山行

雨は好きではないが たまにはこんな山行も必要かな…

2018 年9月9日(日)

<参加メンバー> 15人(男性6人、女性9人)

<天 候> 雨、降ったりやんだり

< コースタイム >

JR 尼崎駅 7:36 発
JR 大阪駅 7:45 発
マキノ駅 9:26 着 バス ー
10:05 マキノ高原 ー
10:20 登山口 ー
11:30 武奈ノ木平 11:50 ー
12:55 栗柄越 ー
13:10 赤坂山 13:25 ー
ピストンで下山 ー
15:15 ” マキノ高原温泉さ
らさ “へ戻る

< 山行の概要 >

台風21号の影響で登山道が荒れているとの情報を得、青春18切符を払い戻ししようか、JRグルメリ山行にしようかなどと担当で検討していたところ、会長の「山岳会やぞ！何を言うとか」との喝(?)で決行した。

マキノ高原へ到着の頃より雨が降り始め合羽の準備で歩き始める。

登山口より急な丸太階段が続く。大雨の影響か丸太の崩壊箇所もあった。間もなくして大木が倒れ登山道を遮断している。くぐったり超えたり、頭部打撲しながら先に進む。水の流れ道のような石ころ道、何本の倒木を超えたであろうか。休憩を入れようとするれば、登りきったところに東屋があるから、と会長の声。「あと5分くらいや」・・・でた！会長の‘あと5分’は30分はあるよなあ・・・。それ程はかからず登りきり、広場に出る。立派な東屋で雨宿りを兼ね昼食を摂る。土砂降りになりもう眺望も望めないしここで下山と誰もが思う(?)しかし我が山岳隊は山頂目指します。水場にもなっている沢を沿い、石畳、薄い霧がかかる樹林帯を抜ければ視界が開けた。熊笹の藪を漕いでいけば栗柄越の分岐。山頂が目の前に見えた。この頃には雨が上がり、スキの葉をかき分けながら10分ほどで山頂に到着。霧の晴れ間に墨絵のような比良山系、琵琶湖が望めた。景色を楽しんでいると「来てよかったやろ！」と会長の声で、本当に、途中で下山しなくてよかった、と思った。集合写真の撮影後再び土砂降りになり、早々と下山開始。道が荒れているためピストンで。春はカタクリの花が群生しているとの事。その季節にまた来たい。合羽を着て蒸した身体を“マキノ高原温泉さらさ”できれいさっぱり。

決行してよかった山行でした。



① “マキノ高原温泉さらさ”前で雨天仕様とストレッチ



② 赤坂山登山口



③ 丸太階段の急坂登り



④ 階段が続きます



⑤ 台風21号の爪痕その1



⑥ 爪痕その2



⑦ 爪痕その3



⑧ 爪痕その4 根こそぎ



⑨ 武奈ノ木平着。昼食と雨宿り



⑩ 出発



⑪ 大粒の雨です



⑫ 道を陣取る大きなカエル！



⑬ 樹林帯で立休憩



⑭ 爪痕その5



⑮ 爪痕その6 標識も壊れています



⑯ 雨は上がった



⑰ おーい！B班頑張れー



⑱ 秋ですなあ



⑲ もうすぐです



⑳ ハイ到着



㉑ 水も滴る・・・



② 墨絵の世界が広がっていた



③ しばし休憩



④ 集合写真、直後に雨が!



⑤ 下山開始



⑥ イワウチワが雨に濡れて美しい



⑦ 武奈ノ木平まで戻ってきました



⑧ 倒木多かったね



⑨ マキノ高原まで戻る



⑩ 入湯後さっぱりしてバスを待つ

おまけ キノコ編



きのこ1



きのこ2



きのこ3



きのこ4



きのこ5



きのこ6



きのこ7